

第30回研究発表会を開催します

保健環境科学研究所及び原子力環境センターで行っている調査研究の内容を紹介します。

日時：平成28年1月20日(水) 13時30分～16時00分

場所：松江合庁2階講堂(松江市東津田町)

入場は無料ですので、どうぞお気軽にご来場ください



発表演題



アオコ発生時における水質と植物プランクトンの出現状況について

(保健環境科学研究所 水環境科 主任研究員 崎 幸子)

宍道湖ではアオコが連続して発生し問題となったことから、アオコ発生の原因究明調査を実施しました。湖内でどのような種類の植物プランクトンがどのように出現しているのかを中心に報告します。

島根県における微小粒子状物質(PM2.5)の現状について

(保健環境科学研究所 大気環境科 研究員 浅野 浩史)

PM2.5は、全国的に大気環境基準達成率は低く、島根県においても例外ではありません。今回は、島根県におけるPM2.5の現状について今まで観測した質量濃度や成分分析(イオン、無機元素、炭素)結果等をふまえて報告します。

島根原子力発電所周辺モニタリングポストで観測した冬季雷雲活動に伴う放射線

(原子力環境センター 測定分析GL 生田 美抄夫)

冬季、日本海沿岸地域では、シベリア気団からの寒気の吹き出しに伴い、日本海上で積乱雲が発達し、世界的にも希な冬季落雷が発生します。2015年2月、島根原子力発電所周辺モニタリングポストで雷雲から強力な放射線を検出しましたので、その詳細を報告します。

健診結果等からみた糖尿病に関する現状について

(保健環境科学研究所 総務企画情報課 企画情報係長 岩谷 直子)

糖尿病は、脳卒中や心筋梗塞等の重大なリスク要因です。働き盛り世代の糖尿病有病者は増加しているのか等、事業所健診データ等から現状を把握しましたので報告します。

本邦で初めて分離されたヒトアデノウイルス57型(HAdV57)について

(保健環境科学研究所 ウイルス科 研究員 辰己 智香)

2014年松江市において気管支炎と診断された患者からHAdV57が分離されました。この型の分離は本邦において初めてのことで、アデノウイルスの概要および島根県におけるアデノウイルスの検出状況と合わせて報告します。

国内で発生する食中毒の原因菌を標的とした網羅的迅速検出法の改良及び利用

(保健環境科学研究所 細菌科 専門研究員 川瀬 達)

細菌性食中毒の検査(培養法)は結果を得るのに時間を要するという点を改善するため、多種類の食中毒菌の迅速検出法について研究を行いました。今回は、その研究内容や実際の食中毒等で利用した事例を紹介させていただきます。

■問合せ先

島根県保健環境科学研究所(松江市西浜佐陀町582-1)

Tel : 0852-36-8181 Fax : 0852-36-8171

E-mail : hokanken@pref.shimane.lg.jp

